

道徳通信



小方学園

道徳通信

令和6年12月

担当 道徳教育推進リーダー 西

終業式が終わり、冬休みに入りましたね。小学校では今年度から教科書が変わりましたが、中学校は来年度から新しい教科書になります。道徳科は、今年度までと同じ教科書「中学道徳 あすを生きる」（日本文教出版）を利用しますが、教材の配列や内容が一部変更されます。「思いやり」に関する教材については今年度までと変わりありませんが、より一層子どもたちに「思いやり」の心を育み、望ましい人間関係を築くことができるよう、これからも、道徳科の時間だけでなく、学校の教育活動全体を通して指導していきたいと思えます。

学校・家庭・地域で育てる「思いやり」の心

子どもたちに「思いやり」の心を育てるためには、学校・家庭・地域それぞれが役割を果たすことが求められています。

学校では、道徳教育により子どもたちに思いやりの心を育てるだけでなく、教育活動全体を通して子どもたちの道徳性を養っています。

家庭では、子どもの最も身近な模範役としての大人の役割を親が果たすことが、子どもの豊かな心の育成に向けて、何よりも求められています。家庭での愛情をもった触れ合いを通して、家族や他人を大切にし、思いやる気持ちが育っていきます。

地域では、様々な大人や、異年齢の子どもたちとの交流の機会を提供することで、思いやりの心や規範意識を育むことが期待されています。

共通点は、「愛情をもって育てていく」ことだと思えます。大切な子どもたちを、これからも愛情をもって育てていきましょう。

小中お手紙交流（第2回・第3回）

2学期は、学園祭と学期末に「お手紙交流」をしました。



学園祭では練習の様子を見て、学期末にはもうすぐ来るクリスマスについて、1学期と同じペアの友だちとお手紙を交換しました。相手のことが少し分かり、顔を思い浮かべながらお手紙を書き、交換当日は、より仲を深めることができたようでした。



広島県教育委員会ホームページの「豊かな心を育てる道徳教育コーナー」では、子どもたちの豊かな心、特に道徳性を育むために学校・家庭・地域が一体となり県民ぐるみで道徳教育を推進する気運の醸成を目指し、さまざまな情報を発信しています。その中で、昨年度の小方学園の取組も紹介されています。各ご家庭でもぜひご覧ください。